

西東京ボランティア・市民活動センター アクションプラン

気球くんプラン

【2019（平成31）年度～2023（新元号5）年度】

【概要版】



「気球くん」とは…

この気球のマークは、ボランティアの旅をするために、大空に舞い上がる気球をシンボルとしてデザインしました。

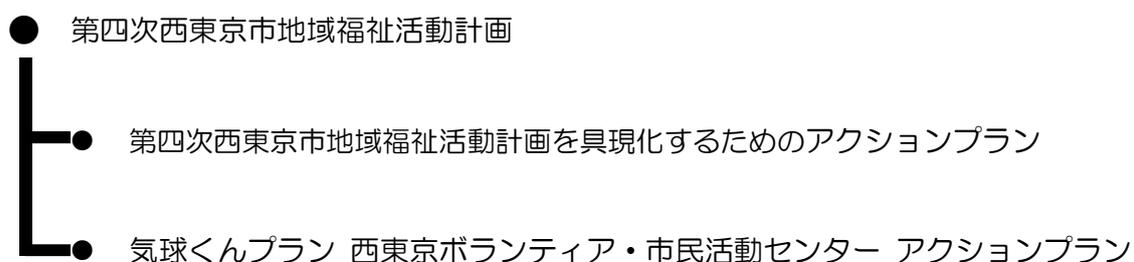
今回、西東京ボランティア・市民活動センター アクションプランを策定する中で、この計画のシンボルとして気球のマークを取り上げ、このマークを「気球くん」と呼ぶことにしました。

気球くんプランの位置づけ

本プランは、西東京市におけるボランティア活動を発展させるための各事業の位置づけを明確にし、実践するためのアクションプランです。

このプランの上位には、『第四次西東京市地域福祉活動計画』および『第四次西東京市地域福祉活動計画を具現化するためのアクションプラン』が策定されており、これらと整合性を持ったプランとしたうえで、綿密に連携を図り、西東京市社会福祉協議会の取り組みの1つとして位置付けられるものです。

計画関連図



プラン策定の目的

西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会では、14年前に作成された強化プランから大きく変わっている現状があることを確認し、西東京ボランティア・市民活動センターをめぐる厳しい情勢をふまえつつ、実効性のある行動計画として、新たなアクションプランを策定することとしました。

基本的な考え方

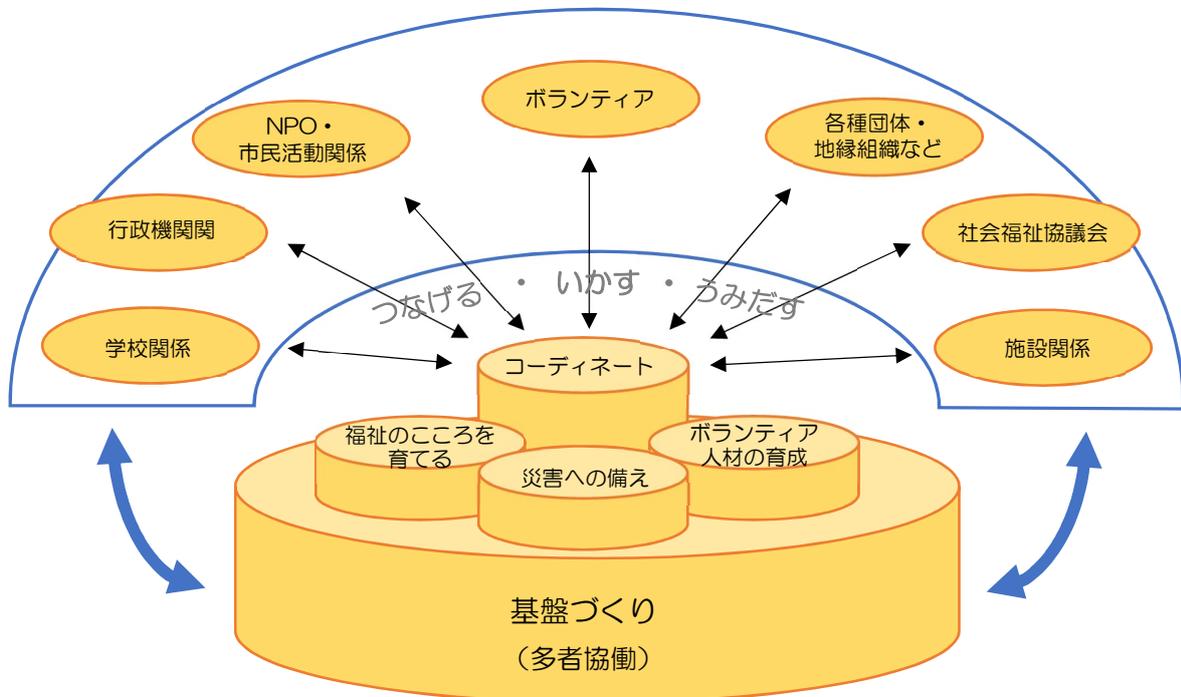
○強化プランに明記されている「めざすもの（＝ミッション）」

「西東京ボランティア・市民活動センターは、『つなげる、いかす、うみだす』の3つの取り組みを通じて、すべての人びとがもつ自らの可能性を現実のものにできるような地域社会をめざします。」

本プランにおける新たな5つの柱

- ①コーディネート機能の強化
- ②福祉のこころを育てる取り組み
- ③ボランティア人材の育成（発掘）
- ④災害への備え
- ⑤基盤（プラットフォーム）づくり（多者協働）

西東京ボランティア・市民活動センターの5つの柱



ボランティア・市民活動センター事業の基本方針

以下7つの具体的取り組みについて、現状と課題を整理して実施内容を定めました。

- (1) 紹介・相談の取り組み（つなげる・うみだす）
- (2) 広報活動の取り組み（いかす・つなげる）
- (3) 研修・講習会の取り組み（うみだす）
- (4) ネットワークづくりの取り組み（つなげる・いかす）
- (5) 教育機関への協力と連携の取り組み（つなげる・いかす）
- (6) 活動援助の取り組み（うみだす）
- (7) 保険の普及

具体的な取り組み内容

今回の西東京ボランティア・市民活動センター アクションプラン「気球くんプラン」では、18項目の具体的な取り組みを策定しました。その中で、本プランにおける新たな5つの取り組みの柱である「福祉のこころを育てる取り組み」「基盤（プラットフォーム）づくり（多者協働）」「ボランティア人材の育成（発掘）」にかかる取り組みについて3つ紹介します。

ボランティアはじめて講座

地域の課題解決に取り組む、ボランティア活動者を増やすことを目的に講座を開催します。

ボランティア出張講座

地域に出向いて講座をすることで、ボランティア活動やボランティア・市民活動センターについて、より身近なものとしてとらえてもらいます。

小中学校連携事業（総合的な学習の時間への協力）

小学生のうちから講演や体験をとおして、福祉に関する理解を広め、地域とつながりあうきっかけをつくります。

さあ、気球くんと一緒にボランティアの旅を楽しみましょう